

## 使用にあたっての留意点

- 「真壁医師会地域共通手順書（以下手順書）」は、「特定行為に係る手順書例集～在宅領域版～注1」をもとに作成しました。

在宅等での特定行為対象者の特性である＜対象数が少ない、長期間に特定行為を提供する可能性がある、対象年齢や疾患領域が多様で、個別性への配慮が重要である＞などを考慮して一部改変して作成しました。

- 今後、在宅領域における様々な医療機関や施設の医師や看護師が使用することが可能になります。特定行為を実施しようとする臨床現場の方々が、手順書を作成するにあたり参考としていただければ幸いです。
- 留意点として、

①長期に渡って継続する場合は、対象者の退行性変性に基づく生活障害等の変化に合わせて定期的な見直しが必要です。

②対象者の状況により「その他」の記入個所を利用して、個別性に配慮して使用してください。